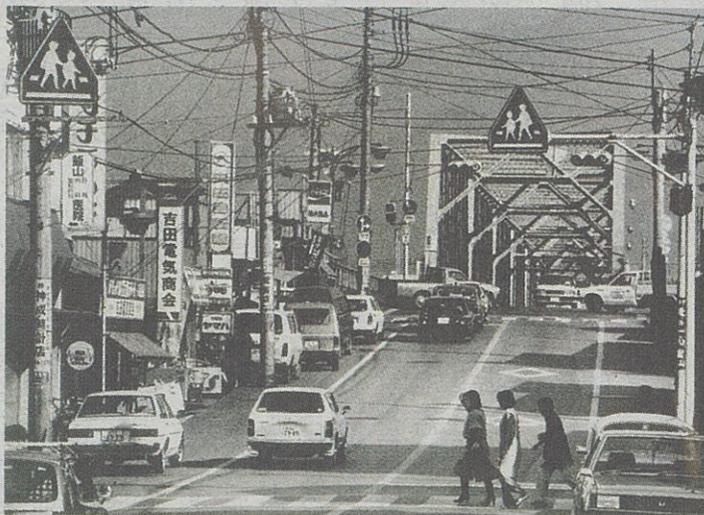


文化・芸術



「上州#10桜木町」

1982年、ゼラチン・シルバー・プリント
24・5枚×30・5枚
(大川美術館蔵)

石内都 (1947年)

企画展「石内都 STEP THROUGH TIME」から

《名画の扉》

初期3部作を撮り終えて後、生地桐生を撮った2作目に当たる「上州」は、「アサヒカメラ増刊①」(1983年1月号)誌上で発表され、その後、当館での「石内都上州の風」にのって1976/2008(2009年)において初めて展示されたシリーズです。今回は、同じく桐生周辺を撮った「はるかなる間」(1976年)、「錦桜橋」(2002年)とともに展示しています。

「陽(ひ)の当たらない狭い空間をはいずり巡った」と書く「連夜の街」の反動をきっかけに、1982年、空や山や川や木々のある素朴な風景が見たいと訪れた群馬。その場所は「どこでもよかった」としながらも、選ばれ撮影の軸となったのは、再びの桐生でした。本作には、自身の記憶の原点と語られる「錦桜橋」が、少しの距離をおき、初めて捉えられています。

(小此木)